

小論文の書き方③ く構成メモを作ろうく

小論文は練習することで上達します。ですが、実際に文章を書き始める前にやってほしいことがあります。それは、**構成メモ**を作ることです。

構成メモって何？

構成メモとは、実際に文章を書く前に、**どこに何を書くか**をメモしておくものです。

どこに何を書くか、頭の中で考えるだけだと書いているうちに話題が前後してしまったりします。そんな時間の無駄、と思うかもしれませんが、構成メモがきちんとできていれば、実際に小論文を書く時間も短くできます。

小論文の構成

小論文は作文とは違って、**書く順番が決まっています**。

【基本の形】

- ① 自分の【主張】
- ② 自分の【主張】を証明する理由やデータ
- ③ 反論・反対意見への対策
- ④ 結論

この順番で書きます。

作文は話が戻ったりしても良いですが、小論文は必ずこの順番で書いて、③の後に②の内容がくる、といったことがないようにしましょう。

ちょっと難しいかもしれないので、具体的な例を通して見てみましょう。

【例題】 犬と猫どちらが良いか、あなたの意見を述べなさい。

実際こんな問題が出題されることはないと思いますが、構成を理解するための例題です。家族で犬か猫、どちらかを飼うことになったとします。ここでは、あなたは犬を飼いたい、ということにしましょう。他の家族は猫が良いと言っています。他の家族に犬の方が良い！ということを読得しましょう。

① 自分の【主張】

猫より犬の方が良い。

これが【主張】ですね。この場合、【主張】は一文で済みます。

② 自分の【主張】を証明する理由やデータ

小論文で一番大事な部分です。猫よりも犬が良い点を説得しましょう。

- ・犬は忠誠心が強くて人によくなつく
- ・犬は一緒に散歩に行くことができ楽しい

小論文の長さにもよりますが、とりあえずここでは2つの理由をあげましょう。

③ 反論・反対意見への対策

ちよつと難しいところかもしれませんが。

ここでは、自分の【主張】と反対の立場にたってみて、良いところを書きます。つまり、この例では猫の良いところを書くのです。

猫はほえないので静かで近所に迷惑がかからない

犬の良さを説得したいのに、なぜ猫の良いところを書くのでしょうか？

それは、猫の良さもわかった上で、それでも犬の方が良いのだ、と説得するためです。猫の良さに気付いていないのではなく、それもわかった上でやっぱり犬の方が良い、ということを書いてアピールするためにあえて書くのです。

ただ猫の良いところを書くだけではなく、それでも犬の方が良いということも書きましょう。

猫はほえないので静かで近所に迷惑がかからない
だけど、犬もしつけを普段はすればほえないし、何かあった時にほえてくれたら家も安全になる。

こうすれば、猫の良さもわかった上で、それでも犬の方が更に良い、という点がアピールできますね。
相手は反論できなくなりますよね。

④ 結論

結論は必ず最初の自分の**【主張】**と同じ**内容**になります。
書いているうちに**【主張】**がかわってしまっただけではダメです。

だから、猫より犬が良い。



構成メモの作り方

さて、同じ犬と猫どちらが良いか、という例で構成メモの作り方をみてみましょう。



②【主張】を証明する 理由・データ	①自分の【主張】
④結論	③反論・反対意見への対策

このように紙を4つに区切ります。
それぞれの場所に何を書くかメモしていきます。

<p>②【主張】を証明する理由・データ</p> <ol style="list-style-type: none">1. 犬は忠誠心が強くて人になつく2. 散歩に行ける	<p>①自分の【主張】</p> <p>猫より犬が良い</p>
<p>④結論</p> <p>猫より犬が良い</p>	<p>③反論・反対意見への対策</p> <p>猫はほえないので静か、 迷惑がかからない →犬もしつけをすればほえない 何かあった時にほえたら家も 安全で良い</p>

こんな感じですよ。



このメモを作っておけば、「あ、あれも書く」と思って話が前後することはないです。すね。
あとはメモ通りに並べて、文章と文章をうまくつないでいきましょう。



小論文を書いてみよう

- ①②④の要素は、それぞれ別の段落に書きましょう。
- つまり、最低でも4段落できるといことです。
- ②や③は長い時には段落を分けましょう。

メモの内容をもとに小論文を書いてみましょう。

私は猫よりも犬の方が良い。

なぜなら、犬は忠誠心が強く、人によくなつくからである。**また**、犬は一緒に散歩に行くことができる。

たしかに、猫はほえないので静かで、近所迷惑にならない。**しかし**、犬もきちんとしてつけをすればほえないし、何かあった時にほえてくれたら家の安全にもつながるの
である。

したがって、私は猫よりも犬の方が良い。

メモの内容を順番通りに書いていきますが、**文章と文章をつなぐ単語（接続語）**を上
手に使いましょう。



- ① **なぜなら**②
- たしかに**③ **しかし**
- したがって**④

こういう形で、文章と文章をつなぎましょう。

特に、③の「たしかに〜しかし」の使い方は覚えてくださいね。

小論文を書く前に、必ず**構成メモを作る習慣**をつけましょう。

特に練習の時には、多少時間がかかっても必ず**構成メモ**を作ってから書
くようにしましょう。